

平成18年度事業報告書

I. 事業の状況

平成18年度の事業は以下のとおり実施した。

1. 野球競技の普及振興及び調査研究

野球競技の普及振興を図るため、次の措置を講じた。

- (1) 野球競技の普及振興を図るため、全日本アマチュア野球連盟の行う事業への支援並びに(財)日本学生野球協会及び各少年野球団体等との連携及び協力関係の強化促進。
- (2) 野球競技者の体位向上並びに栄養学、予防医学に関する調査研究及びその成果の活用。
- (3) 各地域における野球競技の普及振興を図るため、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成の充実。
- (4) 日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認スポーツ指導者認定事業に係わる調査検討。
- (5) 連盟内に委員会を設置し、理事会に対し答申をした。
- (6) ティー・ボール普及事業の実施。
- (7) (財)世界少年野球推進財団とともに、第17回世界少年野球大会・北海道大会(7月27日から8月4日、札幌市内で開催)を主催し、3名の委員を派遣した。

2. 野球競技に関する講習会の開催並びに指導者、審判員及び記録員等の養成

(1) 指導者研修会(第30回)

1月14日から2日間、遠鉄ホテルエンパイア(静岡県)で行われ加盟チーム監督等86名が参加した。

(2) 審判員講習会(第48回)

2月25日から3日間、愛知県・トヨタスポーツセンターに於いて、各地区の審判員54名が参加して行われた。

(3) 地域開催審判講習会に対する指導員派遣事業

2006年度は、10件(リトルシニア、九州、秋田、東北、茨城、千葉、北信越、北海道、新潟、宮崎)の申請がありそれぞれ委員を派遣した。

(4) 記録員講習会

8月25日から12日間東京ドームに於いて開催された第77回都市対抗野球大会において記録員講習の実地研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録員を担当した。

(5) ストレングスコーチ研修会(第18回)

12月5日から2日間、京都府・キャンパスプラザ京都で行われ、加盟チームのトレーニング担当コーチ並びにトレーナー45名が参加した。

(6) 新人研修会

2006年度の新人研修会は、若手選手に国際経験を積ませることを目的とした

こと、また、10月・11月の時期にインターコンチネンタル杯並びに同大会に伴う日本代表合宿が行われることもあって、7月にオランダで開催されたハーレム大会へチームを派遣することで新人研修会を兼ねることとした。

3. 野球競技に関する全国規模の各種国内大会の開催

(1) 第77回都市対抗野球大会

8月25日から12日間、東京ドームで開催された本大会では、東北地区代表の「にかほ市・TDK」（3年ぶり9回目の出場）が初優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

(2) 第31回全日本クラブ野球選手権大会

8月10日から4日間、足利市営球場（栃木県）、太田運動公園球場（群馬県）で開催された本大会では、近畿地区代表の「和歌山箕島球友会」（初出場）が初優勝を飾った。

(3) クラブ各ブロック大会

2006年度より制定されたクラブカップ大会は、全国を3ブロックに分けて以下のとおり行われた。出場は、全日本クラブ選手権大会予選において次点となったチームとし、それぞれ8チームにより大会を行った。

① 第1回東日本クラブカップ大会

8月12日から2日間、岩手県営、磐石市営両球場で開催。オール苫小牧（北海道）が優勝した。

② 第1回中日本クラブカップ大会

8月12日から2日間、清水庵原球場で開催。静岡硬式野球倶楽部（東海）が優勝した。

③ 第1回西日本クラブカップ大会

8月12日から2日間、山口県周南市野球場で開催。松山フェニックス（四国）が優勝した。

(4) 第33回社会人野球日本選手権大会

11月18日から9日間、京セラドーム大阪で開催された本大会では、関東地区代表の「富士重工業」（16年ぶり9回目の出場）が2度目の優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。2006年度より社会人野球制度改革の一環として、都市対抗野球大会及び全日本クラブ野球選手権大会の優勝チームに出場権を与えた。

(5) 2006年度各JABA公式大会

2006年度各JABA公式大会の結果（主要大会のみ）…（資料2参照）

4. 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合の開催に対する代表参加者の派遣

(1) 国際大会等に参加する日本代表チームの代表参加者の派遣

① 第16回 IBAF インターコンチネンタルカップ

社会人19名と大学生5名を派遣した。日程の都合により、社会人野球日本選手権と明治神宮大会出場チームからの選手招集は行わなかった。日本は、予選ラウンドで5勝1敗と2位通過したものの、決勝トーナメントでは勝利できず4位となった。なお、渡辺選手が(三菱ふそう川崎)が遊撃手でベストナインに選ばれた。

日程：2006年11月9日(木)～19日(日)

開催地：台湾 台中市

成績：1位キューバ 2位オランダ 3位台湾 4位日本 5位オーストラリア 6位イタリア 7位韓国 8位フィリピン

② 第15回アジア競技大会(2006/カタール ドーハ)

社会人17名と大学生5名を派遣した。日本はトッププロ選手で編成された台湾に惜敗したものの、同様にトッププロ選手を派遣した韓国に勝利し、銀メダルを獲得した。台湾は金メダルを初めて獲得した。

日程：2006年11月29日(水)～12月7日(木)(野球競技実施期間)

開催地：カタール ドーハ

成績：1位台湾 2位日本 3位韓国 4位中国 5位タイ 6位フィリピン

③ 第23回ハーレムベースボールウィーク

今年度はJABA新人研修会事業としてハーレムベースボールウィークに若手選手を派遣した。日本は中国と台湾に勝利し、2勝5敗で4位となった。

日程：2006年7月21日(金)～30日(日)

開催地：オランダ ハーレム市

成績：1位オランダ 2位キューバ 3位アメリカ 4位日本 5位中国 6位台湾

④ 第2回 IBAF 女子ワールドカップ

18名を派遣した。リトルシニア1名と高校生6名が含まれている若いチームであったが、大健闘し2位となった。

日程：2006年8月1日(火)～6日(日)

開催地：台湾 台北

成績：1位アメリカ 2位日本 3位カナダ 4位オーストラリア 5位台湾 6位キューバ 7位香港

⑤ 第4回 BFA AA アジア選手権

日本K-Ball少年野球連盟から18名を派遣した。

日程：2006年9月3日(日)～10日(日)

場所：インドネシア ジャカルタ

成績：1位台湾 2位韓国 3位日本 4位中国

・香港 ・フィリピン ・インドネシア ・タイ

⑥ 第3回 BFA A アジア選手権

日本 K-Ball 少年野球連盟から 2 チーム、各 18 名を派遣した。

日 程：2006 年 8 月 21 日（月）～25 日（金）

場 所：千葉県内

成 績：1 位台湾 2 位日本千葉 3 位日本酒田 4 位韓国 5 位香港
6 位中国 7 位インド 8 位タイ 9 位インドネシア

5. 野球競技者の競技力向上の推進

(1) 日本代表チーム強化練習への候補選手及び選手等の派遣

①強化合宿 5 月 16 日（火）～19 日（金） 倉敷マスカット球場

②強化合宿 7 月 17 日（月）～19 日（水） JFE 東日本 G

* ハーレム大会直前

③強化合宿 10 月 29 日（日）～11 月 1 日（水） 三菱ふそう G、東芝 G、新日石 G

* アジア競技大会合宿

④強化合宿 11 月 3 日（金）～6 日（月） 新日石 G、東芝 G

* インターコンチネンタルカップ直前

⑤強化合宿 11 月 21 日（火）～25 日（土） 東京ガス G、三菱ふそう G

* アジア競技大会直前

(2) プロ・社会人交流試合の実施……………（資料 2 参照）

6. 野球競技に関する競技規則の制定

日本アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技規則の整備と制定に参画した。

7. 野球競技の競技施設並びに用器具等の指導及び公認

(1) 各地区における野球競技施設の指導及び公認

(2) 使用球及び金属製バットの公認

① 使用球の公認＝イソノ、ミズノ、久保田、松勘工業、ナガタ、スミヤ、那須、ゼット、エスエスケイ、アシックス、一光スポーツ、ハイゴールド
以上 12 社

② 金属製バットの公認＝“新安全基準”に適合するバット
（Nマーク記号のあるもの）のみの使用に 限定。

(3) 用器具等の指導及び公認

（財）製品安全協会に委員を派遣し、意見具申。

(4) 「NPO 法人アオダモ資源育成の会」への参画

「アオダモ資源育成の会」に委員を派遣。

8. 財団法人日本体育協会及び全日本アマチュア野球連盟に対する加盟並びにそれらの事業への協力

(1) (財)日本体育協会への協力

- ① (財)日本体育協会に役員等を派遣し、意見具申。
- ② 全国スポーツ指導者連絡会議に委員を派遣し、意見具申。

(2) 全日本アマチュア野球連盟の事業に対し、次の措置を講じた。

- ① 全日本アマチュア野球連盟の事業に対する分担金を提出した。
- ② 全日本アマチュア野球連盟が行った4の(1)及び5の(1)の事業に対し、競技者及び役員等の派遣

9. 全日本アマチュア野球連盟を通じた国際野球連盟、アジア野球連盟、全日本野球会議及び財団法人日本オリンピック委員会の事業に関する協力

(1) 国際野球連盟 (IBAF) 及びアジア野球連盟 (BFA) への参画

- ① BFA 常任理事会 2月16日 ソウル/韓国
出席 松田全アマ会長、鈴木全アマ専務理事、小檜山全アマ国際担当
※主な事項 BFA 事業計画など
- ② アジア野球サミット 6月6日 ホテルエドモント/日本
出席 松田全アマ会長、鈴木全アマ専務理事、後全アマ常任理事、小檜山全アマ国際担当、事務局 (崎坂、柴田)
- ③ IBAF 執行委員会 9月14日～15日 イタリア
出席 松田全アマ会長、鈴木全アマ専務理事、小檜山全アマ国際担当
- ④ その他：野球関係者との会談 (来日)
 - ・3月2日 アルド・ノタリ IBAF 会長
出席：鈴木、後、小檜山、柴田
 - ・5月19日 オスターマイヤー オセアニア野球協会会長
出席：松田、鈴木、後、小檜山、崎坂、柴田
 - ・5月23日 アルド・ノタリ IBAF 会長
出席：松田、鈴木、後、柴田
 - ・7月13日 (山本前会長 お別れの会時開催)
IBAF 関係：ミゲルオルティン (専務理事)、エドワルドデベジョ (事務局長)、アレクサンダーラトナー (財務部長)、トムベン (第一副会長・台湾会長)
その他：オスターマイヤー (オセアニア会長)、シンドンヨル (韓国副会長)、クリスデイ (台湾国際部長)、パヴァイス (パキスタン会長)、カワルシャー (パキスタン事務局長)、ラマカント (インド会長)、バドワジ (インド事

務局長)、ヘクターナバセロ (フィリピン会長)

日本関係：松田、鈴木、後、小檜山、柴田

・9月18日 オスターマイヤー

出席：松田、鈴木、後、小檜山

・10月20日 フェリペパジャノ ドミニカスポーツ大臣

出席：松田、崎坂、柴田

・11月8日 オスターマイヤー、ハビーシラー (IBAF 会長候補者)

出席：松田、鈴木、後、小檜山

⑤ その他：外国訪問

・7月27日～28日 イタリア (故アルドノタリ氏葬儀)

出席：松田

・8月2日～6日 ニューヨーク (アメリカ)、ハバナ (キューバ)、ドミニカ

出席：松田、鈴木、小檜山

・9月6日～7日 台湾

出席：松田、鈴木、小檜山

・10月24日～26日 韓国・中国

出席：松田、鈴木

(2) 全日本野球会議への参画

① 全日本野球会議幹事会へ代表者が出席し、意見具申。

② 全日本野球会議全体会議へ代表者が出席し、意見具申。

③ 各委員会主催事業への参画

・日本代表編成委員会

〔編成強化部会〕 日本代表チームの強化に関する諸事業の企画・運営にあたるため、委員を派遣した。

〔医科学サポート部会〕 日本代表チームを医科学の面からサポートするため、委員を派遣した。

〔マーケティング部会〕 日本代表チームの強化事業を財政的にサポートすることを目的とした収益活動を推進するため、委員を派遣した。

・技術指導委員会

野球指導者講習会 (10/28～29・秋田、12/9～10・兵庫、1/19～21・千葉) の開催や指導者の派遣等に関わる委員等の派遣。

・普及・振興委員会

全国各地で開催される野球教室等の支援並びにベースボールフェスティバル (8/18～20・松山) に関わる事業を推進するための委員の派遣。

・審判技術委員会

プロ・アマ審判代表者で構成され、統一の技術マニュアルの作成並びにア
ンパイアスクール（12/2～3・宮崎、12/9～10・神宮）の実施に関わる委員
を派遣。

・国際委員会

国際的な諸問題にプロ・アマ協力して取り組んで行くために設けられた委
員会。プロアマ双方から委員を派遣。

・プロアマ問題検討委員会（仮称）

国内における関係団体間の諸問題を協議することを目的に設置が決まった。
2007年度より会合を行う。

10. 野球競技に関する刊行物の発行

- (1) 「財団法人 日本野球連盟 連盟報」（2006年版）の発行
- (2) 2006年版「公認 野球規則」の発行
- (3) 「JABA ニュース」の発行
- (4) 社会人野球ガイドブック「グランドスラム」（小学館刊行）に対する制作協力

11. 諸外国における野球競技の普及振興に関する協力援助

アジア野球連盟加盟国等に対する援助

- (1) 用具の提供 アジア野球連盟加盟諸国に対する用具提供を行った。
- (2) コーチの派遣 アジア野球連盟の要請に応じて委員を派遣した。
6月4日から10日までインドに2名（池田善吾氏、佐竹政和氏）を派遣した。

12. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 野球競技の普及振興等協議のため、地区連盟会長等との懇談会（8月26日）
開催。
- (2) （財）野球体育博物館に役員、評議員を派遣し、意見具申。
- (3) （財）スポーツ安全協会に評議員を派遣し、意見具申。
- (4) 故山本英一郎氏お別れの会の実施（資料2参照）

5月26日に逝去された故山本英一郎相談役（前会長）のお別れの会を7月13日実
施した。

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成18年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当
理事	松田 昌士	平成17年2月21日	会長・会長の職務	なし
理事	鈴木 義信	平成 3年2月13日	副会長、理事会、事業計画	なし
理事	川島 勝司	平成 5年2月18日	副会長、競技力向上	なし
理事	朝比奈 豊	平成18年10月10日	副会長、特命事項	なし
理事	後 勝	平成 9年2月19日	専務理事、理事会、事務局	有
理事	関 美喜男	平成 9年2月19日	常任理事、北信越地区連盟	なし
理事	山本 俊一	平成12年2月22日	常任理事・理事会、事業計画	なし
理事	柳 俊之	平成11年2月17日	北海道地区連盟	なし
理事	根津 裕彦	平成12年2月22日	中国地区連盟	なし
理事	原田富士雄	平成12年2月22日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	野端 啓夫	平成12年2月22日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	小暮 昇吾	平成13年2月20日	関東地区連盟	なし
理事	中尾 正治	平成13年2月20日	東海地区連盟	なし
理事	瀬藤 宣彦	平成13年2月20日	九州地区連盟	なし
理事	林 省司	平成13年2月20日	四国地区連盟	なし
理事	山田 智千	平成15年2月20日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	村上 忠則	平成15年2月20日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	麻生 純二	平成16年1月23日	審判・野球規則	なし
理事	川崎 孝	平成17年2月21日	常任理事、事業、近畿地区連盟	なし
理事	渡邊 学	平成17年2月21日	東北地区連盟	なし
監事	川嶋 弘	平成17年2月21日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし
監事	荒木 康次	平成17年2月21日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし
監事	藤岡 行弘	平成17年12月27日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	後 勝	平成11年4月 1日	事務局総括	有	兼理事
次長	崎坂 徳明	平成 3年3月18日	局長補佐	有	
国際事業企画課長	柴田 穰	平成 8年9月 1日	一般事務	有	
総務課長	藤嶺 典優	平成16年12月20日	一般事務	有	出向
係長	遠藤 周子	平成 9年1月 1日	一般事務	有	
主事	中尾 裕希	平成13年3月 1日	一般事務	有	
主事	池田 浩子	平成14年4月 1日	一般事務	有	

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果	
2月21日	諮問第1号	新規加盟申請に関する件	承認
	議案第1号	人事に関する件	承認
	議案第2号	内規等の改正に関する件	承認
	議案第3号	平成17年度事業計画実施報告に関する件	承認
	議案第4号	平成17年度収支決算に関する件	承認
	議案第5号	都市対抗野球大会に関する件	承認
	議案第6号	全日本クラブ野球選手権大会に関する件	承認
	議案第7号	クラブチームの自主運営による大会及びリーグ戦等の支援に関する件	継続審議
	議案第8号	社会人野球日本選手権大会に関する件	承認
	議案第9号	茨城ゴールデンゴールズからの後援申請に関する件	承認
	議案第10号	北信越リーグ並びに国内プロ野球独立リーグとの関係に関する件	承認
	議案第11号	平成18年度事業計画に関する件	承認
議案第12号	平成18年度収支予算に関する件	承認	
4月25日	議案第1号	新規加盟地方団体申請に関する件	承認
8月24日	議案第1号	人事に関する件	承認
	議案第2号	諸規定の制定並びに改正に関する件	承認
	諮問第1号	事業計画の変更並びに第一次補正予算案に関する件	承認
	諮問第2号	新規加盟地方団体申請に関する件	承認
	諮問第3号	茨城ゴールデンゴールズに関する件	承認
	諮問第4号	各種事業に関する件	承認
	11月18日	議案第1号	人事に関する件
	議案第2号	寄附行為の改正に関する件	承認
	諮問第1号	事務所移転計画に関する件	承認
	諮問第2号	事業計画の変更並びに第二次補正予算案に関する件	承認
	諮問第3号	平成19年度事業計画案に関する件	承認
	諮問第4号	平成19年度各種年会費に関する件	承認
	諮問第5号	平成19年度暫定収支予算に関する件	承認

(2) 評議員会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果	
2月21日	議案第1号	新規加盟地方団体申請に関する件	承認
	諮問第1号	平成17年度事業計画実施報告に関する件	承認
	諮問第2号	平成17年度収支決算に関する件	承認
	諮問第3号	平成18年度事業計画に関する件	承認
	諮問第4号	平成18年度加盟団体負担金及び登録料に関する件	承認

・	諮問第5号	平成18年度 JABA クラブ入会金及び年会費に関する件	承認
・	諮問第6号	平成18年度 JABA 公式大会等の参加料に関する件	承認
・	諮問第7号	平成18年度加盟団体補助費等の支給に関する件	承認 承認
・	諮問第8号	平成18年度収支予算に関する件	承認
4月25日	議案第1号	新規加盟地方団体申請に関する件	承認
10月10日	議案第1号	理事会選出理事の選任に関する件	承認
	議案第2号	新規加盟地方団体申請に関する件	承認
	議案第3号	事業計画の変更並びに第一次補正予算案に関する件	承認
12月27日	議案第1号	寄附行為の改正に関する件	承認
	議案第2号	事業計画の変更並びに第二次補正予算案に関する件	承認

4. 認可及び承認に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄附金に関する事項

(単位：円)

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備考
国内野球事業の普及と振興	(財) 水野スポーツ振興会	1,000,000	1,000,000	
国内野球事業の普及と振興	(株) エスエスケイ	1,000,000	1,000,000	
国内野球事業の普及と振興	(社) 日本野球機構	10,000,000	10,000,000	

7. 主務官庁指示に関する事項

該当なし

8. その他重要事項

該当なし

登録者の異動状況書

登録者種別	登録者数		増減数	摘要
	平成18年12月31日現在	平成17年12月31日現在		
役員	1,964名	1,987名	▲23名	
競技者	11,640名	10,509名	1,131名	
一般	1,882名	2,076名	▲194名	
合計	15,460名	14,572名	914名	